

人口動向

◆ 本県総人口の推移

2015年 1,648千人
2020年 1,588千人
2022年 1,563千人

※ 推計に当たったの仮定
(国の長期ビジョン準拠)

◇ 合計特殊出生率
2030年に1.8
(国民希望出生率)
2040年に2.07
(人口置換水準)

◆ 社人研推計

2045年 1,204千人
2060年 978千人

◆ 将来人口推計(※)

2045年 1,234千人
2060年 1,033千人

※ 2060年については、社人研推計に基づき国が推計したものを

第2期総合戦略策定(R2.3)の趣旨・背景

➢ 第1期総合戦略の振り返りや、「SDGsを原動力とした地方創生」など国の第2期総合戦略の新たな視点等を踏まえ、令和2年3月に、第2期鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。

第2期総合戦略改訂(R5.12)の趣旨・背景

➢ 第2期総合戦略の策定後、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、地方の経済・社会が大きな影響を受ける一方、デジタル・オンラインの活用が進み、テレワークやワーケーションが普及したことで、多地域居住・多地域就労が現実のものとなってきている。
➢ 国は、こうした社会情勢も背景に、デジタルの力を活用しつつ、地域の個性を生かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化するため、令和4年12月に第2期総合戦略を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定した。
➢ 本県においても、このような社会情勢の変化に対応するため、令和4年3月に改訂した「かごしま未来創造ビジョン」や国の総合戦略等を踏まえながら、第2期総合戦略を改訂する。

本県の地域ビジョン(鹿児島の目指す姿)

以下の3つの社会の実現による
「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島」を目指す姿とする。

- ① 県民一人ひとりが地域に誇りを持ち多彩な個性と能力を発揮する社会
- ② 誰もが生涯を通じて健やかで安心して心豊かに暮らせる社会
- ③ 地域の魅力・資源を生かした産業の振興が図られ、将来を担う新たな産業が創出されている活力ある社会

取組方針

I 「しごと」をつくる

- 鹿児島に産業・雇用をつくる
- 農林水産業や観光など重点的な振興を図る

II 「ひと」をつくる

- 鹿児島への人の流れをつくる・人を育てる
- 鹿児島で結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる
- 誰もが個性と能力を発揮し活躍できる社会をつくる

III 「まち」をつくる

- 活力があり、安心・安全な暮らし、地域でのつながりがある、かごしまをつくる

取組の方向と具体的な施策

◆ 働く場の創出

- ① 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
ア 農林水産業の生産・加工体制の強化、付加価値の向上
イ 農林水産業の販路拡大・輸出拡大
ウ 農山漁村の活性化
- ② 観光の「稼ぐ力」の向上
ア 国内外における戦略的なPRの展開
イ 魅力ある癒やしの観光地の形成
ウ 戦略的な誘客の展開
エ オール鹿児島でのおもてなしの推進
オ 観光関連施策の推進
- ③ 企業の「稼ぐ力」の向上
ア 生産性と付加価値の向上による産業競争力の強化
イ 将来を担う新たな産業の創出
ウ 中小企業の経営基盤の強化
エ 県産品の国内外マーケットへの戦略的な展開
オ 建設現場における生産性の向上
- ④ 多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出

主な「目指すべき結果(評価指標)」

- 農業産出額:5,000億円(R7年度)
- スマート農業技術の導入件数:1,700件
- スマート水産業導入漁協等の件数:25件
- 県産農林水産物輸出額:約500億円(R7年度)
- 観光消費額:3,700億円(R6年)
- 延べ宿泊者数:990万人泊(R6年)
- 外国人延べ宿泊者数:150万人泊(R6年)
- 付加価値の創出・向上につながった企業の割合:95%
- 県内建築士事務所のBIM導入率:50%(R7年度)
- 企業立地件数:290件(累計)(R2~9年度)
- 起業支援後3年以上事業継続している事業者の割合:90%
- 県産品の海外へ新規販路開拓した商品数:380商品
- 年次有給休暇取得率:77%

◆ 誰もが活躍できる社会の実現, 人材の確保・育成

- ① 誰もが活躍できる社会づくり
- ② 移住・交流の促進, 関係人口の創出
- ③ 地域産業等を支える人材(財)の確保・育成
- ④ 次世代をリードする人材の育成
- ⑤ 教育環境の整備
- ⑥ 高齢者が健やかで生きがいを持てる社会づくり

◆ 結婚, 妊娠・出産, 子育ての希望がかなう社会の実現

- ① 結婚, 妊娠・出産の希望を実現できる社会づくり
- ② 安心して子育てができる社会づくり
- ③ 子どもの夢や希望を実現する環境づくり
- ④ 子どもたちが未来に希望を持てる社会づくり

主な「目指すべき結果(評価指標)」

- 県女性活躍推進宣言企業制度登録数:275社
- 障害者雇用体験事業を活用した雇用移行者:160件(累計)
- 市町村の相談窓口等を通じた県外からの移住者数:16,000人(累計)(R5~9年度)
- 高校生の県内就職率:現状以上の就職率(R4:61.0%)
- 農業の担い手確保数:10,000経営体(R7年度)
- 授業において「ほぼ毎日」コンピュータなどのICTを活用している学校の割合:小・中ともに80%
- 認知症サポーターの養成数:241,000人
- かごしま出会いサポートセンターの会員の延べ成婚数:110組(R6年度)
- 乳児死亡率(出生千人対):2.1以下(R6年度)
- 保育所待機児童数:0人(R6年度)
- こども家庭センターの設置市町村数:43市町村

◆ 時代に合った, 安心・安全で活力ある地域づくり

- ① 地域づくり
- ② 安心・安全な暮らしづくり
- ③ デジタルテクノロジーを活用した県民の暮らしの質の向上
- ④ 地域間連携
- ⑤ 個性豊かで魅力ある景観づくりと活力あるまちづくり
- ⑥ 脱炭素社会の実現と豊かな自然との共生

主な「目指すべき結果(評価指標)」

- 県内に定住した地域おこし協力隊員数:237人(累計)(R2~9年度)
- 地区防災計画の策定状況:28地区
- 障害福祉分野における介護ロボット等の導入施設数(入所系):39施設
- オンライン収納対応手続きにおけるオンライン収納率:10.3%
- マイナンバーカードを利活用した住民サービス向上のための取組を実施している市町村数:43市町村
- 温室効果ガス排出量:毎年度削減

総合戦略の推進

PDCAサイクルの実施

県民との協働

市町村との連携